



がんばれヘンリーくん

ベバリイ＝クリアリー 作

ルイス＝ダーリング 絵

松岡享子 訳

学習研究社 1969年 900円



ヘンリーくんは小学校3年生の男の子です。ある日、ドラッグストアでやせこけてノミのいる雑種の犬を拾います。やせてアバラ骨がみえるから「アバラ」と名付けた犬を、家に連れて帰るためにバスに乗せようとして大騒動になる「ヘンリーとアバラ」、ペットショップで買ったつがいのグッピーがどんどんふえる「百万びきのグッピー」、なくしたボールを弁償するために、ミミズを1331匹捕まえる「ヘンリーと夜のお客さま」など、ヘンリーくんの毎日がいきいきと描かれています。

「ゆかいなヘンリーくん」シリーズは「ヘンリーくんとビーザス」など全9冊あり、ヘンリーくんや友だちのビーザス、ビーザスのやんちゃな妹ラモーナなどが活躍します。1950年にアメリカで出版されてから半世紀以上も子どもたちに愛されているシリーズです。ラモーナを主人公にした「ラモーナ、明日へ」などラモーナの物語も5冊出版されています。